

学校教育目標	ともに学び合い、未来を創る子供の育成		
a ミッション	小中連携教育を基盤とした確かな学力の育成	a ビジョン	○児童の主体性を育み、未来につながる学力をつける学校 ○幼・小・中の連携を深め、学び合いにより相互に高め合う学校 ○家庭・地域とともに、子供の育ちを考える学校

尾道市立美木原小学校

評価計画				自己評価				学校関係者評価			改善計画		
b 中期経営目標	c 短期経営目標	d 目標達成のための方策	e 評価指標	f 目標値	7月	1月	h	i	j 結果と課題の説明	k 二次評価			m 改善案
					g 達成値	g 達成値	達成度			評価	イ	ロ	
学びを創る	確かな学力の育成	読解力の向上	①学びをつなげる「読むこと」の指導。 ・物語文、説明文における既習の読み方を明確にして授業で活用する。 ・単元終了後の学びの振り返りの実施。 ・話型を使って考えを伝え合う時間を授業内に設定する。 ②基礎学力を高めるためのドリルタイムの充実。 ・全員が集中して取り組む10分間の実現。 ・ドリルタイムで音読・声に出す活動に取り組み。 ・書く活動を週1回以上取り組む。	①国語科単元末・学期末テスト（思考・判断・表現）80点以上の児童の割合 ②標準学力調査の通過率「読むこと」全国平均以上の児童の割合（国語科）	①80%以上	②80%以上							
	生活を創る	「学校生活を創る」主体的で実践的な力の育成	主体性の向上	①学級活動の充実 ・児童主体の話し合い活動（形式を統一） ②主体的な人間関係づくりの充実 ・ピアサポート活動等の実施（毎月第3火曜日のそうじ時間に縦割り班でピアサポート活動、積極的な挨拶）	児童アンケートの肯定的回答の割合（7月・12月実施） （1）学級活動について（全学級） （2）友達との関わり方について（全学級） （3）挨拶について（全学級）	(1) 80%以上 (2) 80%以上 (3) 80%以上							
			働き方の質の向上	分掌部会の活性化による協体制の強化 キーワード 共有・協働・徹底	教職員アンケート 「教職員間で相談したり、業務に手助けをするなど、互いにやすい雰囲気がある」の肯定的回答（7月・12月）	85%以上							
働き方改革	豊かな教育活動の実践	働き方の質の向上	分掌部会の活性化による協体制の強化 キーワード 共有・協働・徹底	教職員アンケート 「教職員間で相談したり、業務に手助けをするなど、互いにやすい雰囲気がある」の肯定的回答（7月・12月）	85%以上								

【自己評価 評価】
 A：100≦（目標達成）
 B：80≦（ほぼ達成）<100
 C：60≦（もう少し）<80
 D：（できていない）<60

【外部評価】 イ：自己評価は適正である。ロ：自己評価は適正でない。ハ：わからない。